

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話 (243) 0141
19年6月3日

全商連創立70周年に向けて民商運動をさらに強く大きくしよう

第4回地方別交流会開催

全商連は五月二六日・二七日の両日に四回目となる地方別交流会を開催しました。この交流会には北海道・千葉・東京・山梨・長野・富山・新潟の各民商から二八三名が参加し、新潟民商からは七名が参加しました。

一日目は保母武彦島根大学名誉教授が「地域社会の再生・発展と民商への期待」と題した講演がありました。保母さんは「中小業者の要求は消費者・利用者の利益を守る運動につながることに確信を持って、各界各層との連携を強めて世論に多数派になろう」と民商運動へ期待を語ってくれました。

その後、報告と問題提起が行われて七民商からの全体発言。「一年間で五〇名会員を純増。入会者の平均が四二歳でほとんどが紹介。要求が出たら組織で対応することを基本にしている」(北海道・北見)、「毎月八〇%の班で班会を開催。要求実現のために班会を開いている。入会者の七割は班会に参加して入会している」(東京・足立西)など、全国で奮闘している発言がありました。

二日目は初めてとなる八つのテーマでの分科会が行われ、業者婦人の分科会では和合婦人部長が婦人活動の報告を発言しました。

最後の全体会では橋沢全商連副会長から「消費税増税も憲法改悪も死活問題。集まって話し合いをすすめて参院選で審判を下そう」とのあいさつで閉会。片道五時間のバス移動でしたが、参加者は疲れをみせず元気な帰路につきました。



全商連・第4回地方別活動交流会
2019年5月25-26日 新潟市
全体会で発言する上越・尾崎さん



表彰される県連青木事務局長

日程

- ・ 6月4日(火) 理事会
- ・ 6月11日(火) 婦人部三役会

参加者からの声

私が選んだ、「業者婦人の活躍と暮らし・営業の見直し」の分科会では、北海道の帯広民商が施設見学ツアーを100回以上続けたことや町ゼミなどそれぞれの民商で試行錯誤しながら頑張っている様子が聞けてパワーをもらうことが出来ました。

午後の砂防会館では全体会があり6人の活動報告と拡大顕彰があり、拡大の頑張りが実を結んでいる北海道は活気に溢れていました。

和合

北海道の民商はどこも活発に活動し、役員中心で確定申告書、消費税を記入・作成しているところが多い。東京では、法人会員が税金相談員をしている。また、法人会員はやよい会計を使用してパソコン記帳を推進しています。

要求相談の面でも、1700万円の税金を0円にできた、換価の猶予申請をしたら、毎年提出しないとイケないなどのアドバイスも。

山梨では、会員一人一人に合った自主計算、外国人にもそれぞれの民商で工夫をし、特色をだしていました。

菅原

「業者青年に魅力ある民商づくり」の分科会は、分科会の中で一番人数が少なかったことが現在の民商の状態だと思えます。しかしながら中身の濃い分科会でした。リード発言では、会員の高齢化と廃業での会員減には青年部が重要で、青年部のOBの参加が大切。

お店の宣伝ではスタンプラリーで回るHP作成やSNSの活用勉強、フリーランスの集会の企画などたくさん刺激をいただきました。青年部が元気な民商は若い会員がどんどん増えているのに繋がっていると思います。

市橋

地域のコンビニを隈なく訪問!

女池支部

コンビニ問題が社会問題になっている折、女池支部でも役員会で議論になり、島田支部長が率先して地域のコンビニを訪問して廻りました。地域でも濫立しており一時間余りで10数件を訪れ、全商連による取り組みを伝えるなどをし、事業主との対話もできコンビニ業界の実情を実感していました。

支部で予定されている「何でも相談会」のチラシも渡し参加を促しています。また、日頃から支部長が気に留めている、通りからは見えない住宅街の中で開業している「顔剃りの店」や地元の喫茶店などを訪問し、民商チラシを用いて紹介しています。

女池支部では毎月定期的に訪問活動を行ない、地域への目配りを欠かしていません。



婦人部 拡大訪問

白根支部

5月24日 白根支部で婦人部拡大行動を行い、三役の渡辺さん、藤井さん、と事務局で行動しました。訪問時間は午後3時からと、婦人ならではの時間(夕食作りの邪魔にならない時間)に事務局が都合を付け参加です。訪問対象の方を打ち合わせましたが、婦人部未加入者は多数いるものの「配偶者がいて未加入の方」は4名程度、訪問対象を「今後の婦人部活動で力を貸していただけそうな方」も含みました。

ここ数年の支部の婦人部は活動が減少しており、6、7年前の婦人部の活気を取り戻すべく、訪問活動にも力が入りました。まずは「各種イベントの企画と参加すること」を訴えていきました。役員や仕事の割振りは後回し、まずは集まって楽しい時間を過ごしましょう。

今回の訪問活動では具体的な成果は上がりませんが、何度も訪問することで打ち解けていけると思いますが、「また訪問活動をやりましょう」ということで行動終了しました。

内野支部訪問行動

5月23日内野支部で宣伝行動を行い支部役員の内野さん(自然形体健康院)と事務局で内野駅前の商店街15軒と対話訪問しました。「こんにちはは民商です!」と民商チラシを持って訪問すると「お疲れさま。何か相談ごとがあつたら連絡するよ。有難う。」など暖かく迎えられるました。また町の薬局店に立ち寄ると「ドラッグストアが増えてからは売上が激減で薬局では収入を維持できない、今の本業は不動産賃貸なんだよ。」など対話でしか聞けない話も多く聞くことができました。昔ながらの店舗と新規開店の店舗が共存する内野町。今後も繰返し訪問を続けて行きます。



宣伝・会員訪問行動

石山支部

5月23日(木) 石山支部で商店街での宣伝行動と会員訪問を行いました。商店街訪問では伊藤支部長と事務局で主に新規出店の美容室を訪問しました。中には民商のことを知っていた方もいたり、お客さんがいても手を止めて話を聞いてくれる方もいました。申告や記帳の話をする「今の売上なら自分でできるので、もっと忙しければお願いするかも」などの反応もありました。

定期的に訪問を行い、地元で商売をしている方の状況・事情をつかみ、地域に根差した活動を行っていきます。会員訪問では支部役員が手分けをして会員訪問を行い、情勢と今の民商の現状などを話しました。

